

長岡市の良好な環境を将来につなぐための取り組みを紹介します

### 不要品をごみとして出す前に

# リユースしませんか？

## 「必要ないもの」を「必要としている人」へ…

処分費用や排出の手間をなくせるかもしれません

詳しくはこちら！



長岡市は、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の実践を推進しています。

このたび、株式会社マーケットエンタープライズとリユース事業に関する協定を締結し、不要品を捨てずに再使用する仕組みを構築して、廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。

株式会社マーケットエンタープライズが運営する「おいくら」は、複数のショップの買い取り価格を比較し、手間なく売却ができるサービスです。



## 長岡市



## おいくら?

「おいくら」への一括査定のお申し込みはこちらから！



この商品がよく売れています！

家電



家具



趣味品



### 「おいくら」一括査定の流れ

Step 1

不要品の商品情報を入力して査定を依頼



Step 2

届いた査定結果を比較して買取店を選択



Step 3

手間なくお財布にも優しい不要品処分が完了！



※再販できる品物が買取りの対象です。すべての品物が引き取りできるわけではありません。

※「おいくら」のご利用やトラブルに関するお問い合わせは、「おいくら」サービスカウンター(外部サイト)に直接ご連絡ください。なお、「おいくら」を利用した際のトラブルや損害等について、長岡市は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



◀「おいくら」サービスカウンターはこちらから

## 粗大ごみの収集にご協力をお願いします

- 月・火曜日は申込電話が混み合っつながりにくく、大変ご迷惑をおかけしています。比較的つながりやすい木・金曜日にお電話ください。インターネットによるお申し込みもご利用ください。
- 粗大ごみは1回に5点まで収集します。お急ぎでなければ、複数点まとめてお申し込みください。



# 環境省の交付金に採択・太陽光住宅1000件・産業創出を目指す 雪国長岡で「再エネ導入促進プロジェクト」開始!

令和10年度までを太陽光発電設備などの普及強化期間として重点的に進める「雪国長岡での再生可能エネルギー導入促進プロジェクト」を開始します。

本プロジェクトは、これまで市が取り組んできた雪国対応の太陽光パネル実証実験(環境情報誌Vol.4参照)などが評価され、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金に採択されました。



## 事業概要

市民・事業者を対象に、再生可能エネルギー設備導入に対する補助金を交付します。

	支援内容	予定件数	
		R6~10年度計	(R6)
市民向け	①太陽光発電設備の導入支援 ・自家消費型の太陽光発電設備7万円/kw(上限35万円)を補助 ・蓄電池を設置する場合は、設置費用の1/3、上限56万4千円を <u>上乗せ補助</u>	965件	(55)
	②ZEH(net Zero Energy House)住宅の導入支援 ・ZEH化に係る費用に対して定額55万円を補助 ・住宅性能がZEH+の場合は補助額を100万円に変更	110件	(14)
事業者向け	③太陽光発電設備の導入支援 ・自家消費型の太陽光発電設備5万円/kw(上限100万円)を補助 ・事業者には、市内に事業所を有する個人事業主や医療法人、組合などを含む	100件	(5)
	④公共施設活用してPPA事業に取り組む事業者支援 ・市の施設や未利用地を活用したPPA整備費用の1/2を予算の範囲内で補助 ・R6年度に事業者への調査を行い、R7年度以降から本格実施	7か所	—

※①と②は併用可能

詳しくは、[ながおか省エネ・再エネポータル](#)をご覧ください。



## 『太陽光パネル・蓄電池』の共同購入 参加者募集中!

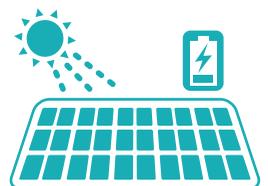
新潟県では、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に向け、太陽光パネル・蓄電池の「共同購入」を実施し、参加者を募集しています。

詳しくは新潟県のホームページ(QRコード)を御確認ください。



募集期間	8月14日(水)まで	
問い合わせ先	新潟県みんなのおうちに太陽光事務局	電話:0120-698-300

※雪国長岡での再生可能エネルギー導入促進プロジェクトと併用可能



## LED照明への計画的な切り替えをお願いします。 工事が必要な場合がありますので最寄りの 電気工事店等へご相談ください。

一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入は2027(令和9)年までに廃止されます。  
※既に使用している製品の継続使用、廃止日までに製造された製品(在庫)の売買・使用が禁じられるものではありません。





# リチウムイオン電池などの小型充電式電池は、「スプレー缶類・発火物・有害物」に出してください！

4月19日(金)、中之島信条クリーンセンターで火災が発生し、燃やさないごみと粗大ごみの処理ができない状況が続いています。

火災の原因は、燃やさないごみに混入した「リチウムイオン電池」からの発火とみられています。

リチウムイオン電池などの小型充電式電池は、強い圧力がかかると発熱・発火し、処理施設や収集車両の火災につながります。必ず「スプレー缶類・発火物・有害物」に出してください。



## リチウムイオン電池などの小型充電式電池を出すときの注意

### ① 充電式電池を機器から外す

・コンセントから取り外して使う電気機器には、充電式電池・電池が入っています。必ず電池類を取り外してください。安全に収集するため、外したふたは閉めないようご協力ください。

・充電式電池を外すことができない場合は、本体ごと出してください

### ② 金属端子部分にテープを貼り絶縁する

### ③ 透明または半透明の袋に入れ、口を結び「キケン」と表示し、「スプレー缶類・発火物・有害物」に出す



### 小型の充電式電池やバッテリーを使用している製品例

※メーカーによって取り外せないものと取り外せるものがあります

#### 取り外せない 充電式電池使用製品

※本体ごと「スプレー缶類・発火物・有害物」に出す



#### 取り外せる 充電式電池使用製品

※充電式電池(バッテリー)は取り外して「スプレー缶・発火物・有害物」に出す(本体は「燃やさないごみ等」に出す)



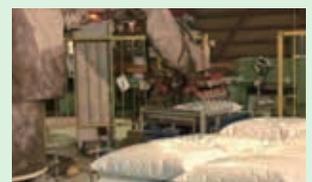
ごみステーションに出された枝葉・草は  
培養土や有機肥料等にリサイクルします!



【収集】



【破碎】



【培養土・有機肥料】

枝葉を縛っている「ビニールひも」はリサイクルの妨げとなるため、収集の際にごみステーションで外しています。収集作業に時間がかかるうえ、ビニールひもはごみになります。枝葉は、**わら縄や麻縄で縛るようご協力ください。**